



重点戦略

1

災害に強い 豊かな「まち」の実現

災害公営住宅の整備などの住まいの確保や、坂本支所を含む住民生活に必要な施設の早期再建、医療提供体制の確保など坂本町の創造的復興を加速化させるとともに、全ての市民が確実に避難できる「逃げ遅れゼロ」の実現、交通ネットワークの多重化による防災力の向上など、あらゆる災害に強く、安心できる強靱なまちづくりを進めます。

Priority strategy



1

坂本町の創造的復興を加速化

重点取組 の方向

災害公営住宅の整備や安全な住宅地を確保するとともに、坂本支所を含む住民生活に必要な施設の早期再建と地域における医療提供体制の確保を進めていきます。また、創造的復興のため、坂本スマートインターチェンジの設置を目指すとともに、国と連携した、球磨川・坂本地区の“かわまちづくり”を推進します。

■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
被災者の方々のすまいの再建率	-	100%
災害公営住宅の建設数 (累計)	-	22戸
坂本支所等公共施設整備の進捗率	-	100%
坂本町における市管理道路等の復旧進捗率	0.1%	100%



2

自助や共助の推進による 「逃げ遅れゼロ」の実現

重点取組
の方向

「逃げ遅れゼロ」の実現に向け、情報伝達の徹底や避難体制の構築を図るとともに、自主防災組織との連携強化による地域防災力の向上を図ります。

■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
緊急時における避難体制や市からの情報提供が整ってきたと感じる市民の割合	45.9%	70.0%
防災行政情報通信システムの登録世帯数	0 世帯	43,300 世帯



3

「地域の避難所」をはじめとした 「防災拠点施設」の充実

重点取組 の方向

災害時に地域の防災活動の拠点となる「防災拠点施設」を整備するとともに、学校体育館等への空調設備の整備を行うなど、「地域の避難所」としての機能強化を図ります。

■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
体育館等にエアコンを設置した校区の数	2 校区	20 校区



4

災害に強い道路ネットワーク整備による 国土強靱化の推進

重点取組 の方向

国道3号や南九州西回り自動車道、地域幹線の国県道などの広域的な道路の整備を促進するとともに、都市計画道路などの幹線道路や市道、林道等の整備を推進し、災害に強い道路ネットワークを構築します。

成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
自動車などによる市内外の移動がスムーズになったと感じる市民の割合	54.2%	59.0%
主要幹線道路の整備率	32.4%	84.4%
都市計画道路西片西宮線の整備率	56.2%	84.9%
林道の舗装率	86.0%	88.0%



5

地域特性や利用者視点に基づく 公共交通サービスの更なる充実

重点取組 の方向

路線バスや乗合タクシーの利用促進を行うとともに、地域の特性や利用者のニーズに応じた公共交通サービスの提供を進めます。

■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
路線バスや乗合タクシーなどの公共交通機関を利用しやすいと感じる市民の割合	26.4%	30.0%
バス・乗合タクシーの年間利用者数	58.9 万人 (R1)	63.6 万人

